

吉岡地区タウンミーティング開催報告	
日 時	令和2年8月26日（水）19：30～21：00
場 所	吉岡公民館2階大ホール
参加者	【地域側：15人】吉岡地区連合自治会長、新町自治会長、上市自治会長、石延自治会長、安用自治会長、安出自治会長、大影自治会長、茂敷自治会長、民生委員会、老人クラブ会長、婦人会長、小学校PTA会長、愛護班会長、社会体育部長、消防分団長 【行政側：4人】市長、吉岡公民館長、健康医療推進課長、健康医療推進課成人保健係長
次 第	1.開会 2.吉岡地区連合自治会長 挨拶 3.市長挨拶・総合計画のポイントと事業説明（別添資料①） 4.テーマ「地域での健康づくり」に関する現状等説明（別添資料②）・意見交換 5.まとめ・閉会
概 要	
自治会長挨拶	この会で西条市が抱える課題を地域の皆さんと市が共有し、共に考え話し合うことで、より魅力的で住みやすい愛着の持てる街づくりに繋がるだろう。 この先10年・20年後の吉岡地区を想って、ざっくばらんなご意見をいただきたい。
市長事業説明	<ul style="list-style-type: none"> 西条市は今後30年間で約3万人の人口減少が予測されている。（約108,000人：2015年実績 → 約78,000人：2045年時点の人口推計値） 上記3万人の内、多くが15歳～64歳→働く世代がいなくなることで、地域や産業の課題増が予想される。 「人口減少・少子高齢化への対応」を最重要課題とした総合計画後期基本計画を策定。2045年時点の人口推計値 約85,000人を目指す！ 優先目標を3つ設定。A)健康寿命の延伸、B)働きがいの創出・経済活力の維持、C)経営感覚のある行財政運営の実践。 市民・事業者の皆さん、行政がともに力を合わせて、将来世代にバトンタッチできる「持続可能な西条市」を実現しよう。
テーマに関する現状等	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命は、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されており、平均寿命⑦と健康寿命①の差は「不健康な状態⑧」である。 2015年調査時の西条市の数値は、男性⑦80.06歳 ①78.32歳 ⑧1.74年、女性⑦86.81歳 ①83.47歳 ⑧3.34年である。 市内の要介護認定者数は、今後1.5倍の人数増が予測されている（6,483人:2015年→9,404人:2040年推計値）ため、このままでは健康でない期間が長くなる。 ⑧の差を縮めることが即ち健康寿命の延伸であり、目標である。 現状、要介護状態となった原因は、高齢による筋肉の衰えからくる関節の病気や転倒による骨折等が上位を占める。次いで動脈硬化の進行による心臓病、脳卒中、糖尿病、腎疾患である。 動脈硬化の進行は、長い年月を要するが自覚症状はないため、毎年健康診断を受けることで自分の身体の状態を把握し、必要であれば、生活習慣の改善を図ってほしい。 個人の意識と行動が大切であるが、行政は取り組みやすい事業の実施・環境整備を行う。一人ひとりの健康が市全体の健康につながるという思いで、一丸となって進めていきたい。 <p>〈参考：調査結果からみる地域の健康状態〉</p> <p>(1) 医療費・検診結果を中学校区別に比較（全10校区） （※令和元年度、国民健康保険の被保険者にに基づく）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療費に占める糖尿病医療費の割合 <ul style="list-style-type: none"> ・東予西中学校区(吉岡校区含む)は中間に位置する。 ○医療費に占める透析医療費の割合 <ul style="list-style-type: none"> ・東予西中学校区は2番目に高い。 ○特定健康診査を受けた40～74歳の血圧数値 <ul style="list-style-type: none"> ・男性：収縮期血圧（上の血圧）は、東予西中校区が最も高い。 ・女性：拡張期血圧（下の血圧）は、2番目に高い。 <p>(2) 味調査…酢飯（お寿司）の塩・砂糖・酢の配合量</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他の地区と比べて、旧東予地区は砂糖・塩の摂取量が多い。

参加者の発言	市の発言及び対応
<p><健康に気をつけていること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に1度の人間ドックや健診を受ける。 ・毎日の発掘調査で感動し、1万歩歩いている。 ・色々な人と話をする。 ・夫婦で毎朝ラジオ体操をしている。 ・仲間と卓球をし、談話を楽しむ。 ・農業に従事、早寝早起きを習慣にしている。 ・早期治療のため、何かあれば病院にかかる ・TV体操や子どもと小学校で武道をしている。 ・定期的に趣味の弓道をし、ストレスを解消。 ・病気の進行を防ぐため朝夕歩いている。 ・子どもの外遊びに付き合う。 ・職場の健康チェックを利用し、良い状態を維持。 ・心の健康を大事に夫婦仲良くする。 	<p>地域の健康リーダーと言っても良いほど、健康意識の高い発言を聞かせてもらった。</p> <p>行政が取り組む健康づくりとして、健康診査やがん検診の他にも、希望の地域に出向く「脳いきいきチェック」や保健師・管理栄養士による「健康づくり出前講座」を実施しているの で、自治会や団体に参加者を募って申込みしてほしい。また、公民館にも置いている『西条市介護予防ガイドブック』には、高齢者の方向けに健康づくりの情報を載せているので参考にしてほしい。</p> <p>公民館行事としては、「吉岡人生大学」を9月3日から全3回開講する。1回目は、「感染症予防と正しい知識～新型コロナウイルスとは～」について済生会病院の認定看護師を招いた講座である。2回目は、10月22日「免疫力を高める方法～食事の大切さ～」、3回目は、11月12日「笑いヨガ健康体操で病気を吹き飛ばす」是非ご参加いただきたい。</p>
<p><コロナに感染した場合の入院について></p> <p>西条市内で感染者が確認された場合、市内の病院で入院できるのか。できない場合、新居浜や今治の病院で入院することになるのか。</p>	<p>県内の感染症指定病院での受け入れとなるが、西条市には該当する病院ない。未公表のため、どこの病院になるのかお伝えすることができない。</p>
<p><PCR検査について></p> <p>コロナ感染症が流行っているが、PCR検査の実施体制について西条市はどう考えているのか。</p>	<p>愛媛県では、県立衛生環境研究所でPCR検査を行っているが、対象は医療機関等で検査が必要と判断された場合に限る。</p> <p>東京等では、自己検診を希望する方は、自己負担額3～4万円の費用で民間施設において受検できるが、県内には対応できる民間施設はまだない。今後は、県が体制を整える予定である。</p>
<p>まとめ</p>	<p><市長></p> <p>それぞれ自治会長の皆さん、吉岡校区の皆さんが元気で、横のつながりを意識していただくことで、元気で持続可能な吉岡になるだろう。また、一人一人しっかり目標を持ち、最終的にはこうしたいという思いを描くことが、暮らしの中ではもちろん、私たち行政を預かっている身としても大切なことだと思う。</p> <p>人口減少は「静かなる危機」と呼ばれており、生活の中で実感はないが、まちの体力を蝕んでいくのが人口減少問題だと思う。私たち行政だけでは手に負うことができない。皆さんの力を頂きながら、皆さんと一緒に持続可能な西条を実現をしていきたい。その先の子、孫達にバトンタッチができる西条市にしたいと思っている。</p> <p><連合自治会長></p> <p>本日の意見交換の内容を各団体に持ち帰り、議論を深めていただきたい。また、今回のテーマに限らず、吉岡の未来をより良いものにしていくために、住民みんなで話し合い、動き出すことが重要である。自治会としても、市と連携しながら皆さんの取組を後押しできるよう励んでまいらる。</p>

<当日の様子>

